土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

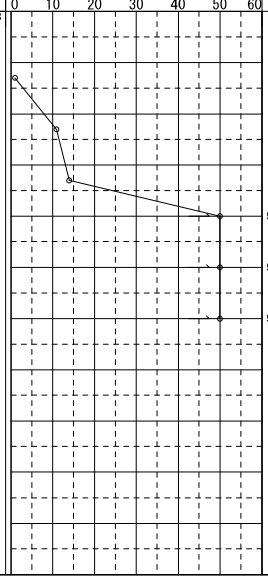
調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	

ボーリング名	Bor-3	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 28.5096"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 7月 2日～ 令和2年 7月 3日	東経	132° 30' 27.9859"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 98.13m	角度	180°（上）90° 0（下）	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-C / エンジン：ヤンマーNFD12 / ポンプ：東邦BG3-C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	97.98	0.15		有機質砂質土		濃暗灰			細粒のシルト混り砂状。未分解の植物片が混じる。	7/3 無し
1				礫混り砂質土		暗褐	rd2		細～中粒の砂・砂質土。 φ5～10mmの角礫・亜角礫が不規則に混じる。	
2	95.68	2.45								
	95.08	3.05		転石		淡灰			厚さ5cmの岩片又は長さ15～23cmの硬い棒状。	
3	94.63	3.50		礫質土		淡褐	rd3		細～中粒のマサ状。φ5～30mmの角礫・亜角礫が混じる。	
4				花崗岩		淡灰			中硬岩相当の花崗岩。 長さ15～55cmの棒状。 岩質は新鮮で、鉱物の風化、変質は、ほとんど受けていない。 ハンマーの打診で、金属音を発する。 深度4.95m付近、一部礫状。 傾斜45～50度の割れ目が多い。	
5										
	92.13	6.00								
6										
7										
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.15	1/300			1/300		
	1.45						
11	2.15	3	4	4	11/300		
	2.45						
14	3.15	8	3	3	14/300		
	3.45						
50以上	4.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	6.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15	P-1	⊖		7/2
1.45				
2.15	P-2	⊖		
2.45				
3.15	P-3	⊖		
3.45				7/3